

熊本を偲んでの訳詞

近況報告と言っても、何ですが自分の趣味を認めます。御笑覧頂ければ幸いです。

10年程前に、英語の歌の教室へ通っておりました。英語ばかりで歌うのではなく、日本語の歌詞を独自に付けて歌っておりました。

一つは、「Carry me back to old Virginny」です。もう帰ることができないであろう「熊本」を偲んで訳詞を付けました。もう一つは「On the sunny side of the street」です。インフレで、生活は苦しくなるばかりですが、「金は天下の回り物」として、明るく生きて行けたらと思います。

45会に出席できたら、仲本先生のご指導を賜りたいと思います。(11室 緒方 善郎)

Carry me back to old Virginny

(懐かしのヴァージニー)

Translated into Japanese by Gm.Shoemaker

1.

Carry me back to old Virginny,
There's where the cotton and the corn and taters grow,
There's where the birds warble sweet in the springtime,
There's where the old darkey's heart am long'd to go.
There's were I labored so hard for old Massa,
Day after day in the field of yellow corn,
No place on earth do I love more sincerely.
Than old Virginny, the state where I was born.

夢見るは	ヴァージニー
綿、きび実る	豊かな地
小鳥囀り	風薫り
古き友がき	我を呼ぶ
額に汗し	主がため
日色づく	きび畑
想ひ辿るは	ただ一つ
我が故郷の	ヴァージニー

< Chorus >

Carry me back to old Virginny,
There's where the cotton and the corn and taters grow,
There's where the birds warble sweet in the springtime,
There's where the old darkey's heart am long'd to go.

< コーラス >

夢見るは	ヴァージニー
綿、きび実る	豊かな地
小鳥囀り	風薫り
古き友がき	我を呼ぶ

2.

Carry me back to old Virginny,
There let me live 'till I wither and decay,
Long by the old Dismal Swamp have I wander'd,
There's where this old darkey's life will pass away.
Masa and Missis have long gone before me,
Soon we will meet on that bright and golden shore,
There we'll be happy and free from all sorrow,
There's where we'll meet and never part no more.

夢見るは	ヴァージニー
終の棲家は	此处にぞと
辛き憂き世を	彷徨ひて
古き友がき	先に逝く
主、奥方	既に亡く
我今渡るか	三途川
柵解けて	幸を得て
伴に眠るは	ヴァージニー

(紙面の都合上、1曲のみ掲載しています。)

中本先生記念授業

令和5年3月29日(水) 12:30 熊高集合
中本先生記念授業 写真撮影
記念品贈呈 等

ブルーインパルス・高島潔君の図書

関西から帰郷して早九年半が経過。四年ほど前に、熊本医専で微生物の研究に従事し、終戦直後に仲間たちと化血研を創設した祖父(豊一)に関する伝記風の日記を書き、和舞(カズム)の筆名で出版。考察など不十分な拙い作ですが、ご用命の際は直接ご連絡ください。安くお分け致します(メルカリも可)

今年七月には、近隣の図書館で偶然ブルーインパルスの写真集を目にしたことから高嶋潔君(九室)を思い出し、調べると二六六年越しの取材に基づいて事件の全体像を詳述した図書を発見しました。例えば、被害を最小限にすべく最後の瞬間まで墜落地点をコントロールした(人家と高速道路を避けた)形跡があるとのこと。高嶋一等空尉の夫人は同書を読まれ「ようやくこれでわが家の歴史ができた」と謝辞を述べられたそうです。

空自の制服を着て誇らしげだった披露会の雄姿を思

約半世紀ぶりに熊本へ帰還しました!

一昨年の十一月に、高校卒業後約半世紀ぶりに熊本に帰還しました。この間は、大学院修了後昭和五一年四月に旧労働省に入省し、本省や地方労働局等において、主に労働基準法等の労働関係法令の解釈・施行などの職務に携わり、宮崎、広島等の地方勤務もありました。平成一九年七月に京都労働局を最後に退官し、その後は民間企業等を経て一昨年の四月にリタイアしました。

帰還後は晴耕雨読の日々かと思っていたところ、本年五月に、以前手術した胃癌の再発・転移等が認められましたが、多くの医師等の方々のご尽力により現在治療を継続しており、快方に向かっている状況です。

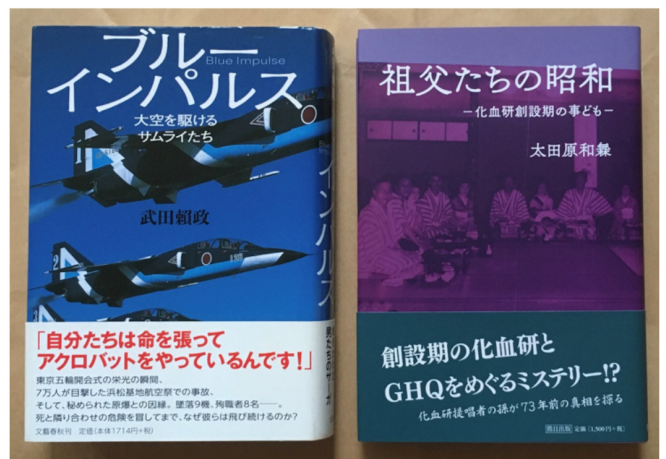
今後とも、体調を見ながらも皆様とのご交誼をお願いしたいと思っております。

(三室 田代耕太郎)

高校生の時のノート

い出します(合掌)。(五室 太田原和敏)

今思えば熊高の三年間で得たものがその後の五十年を支えてくれたように思う。今も高校生の時に書き溜めたノートを持っている。今のようにコピペもなく、気に入った文を手書きで写していた。英語の花言葉やまとめた、好きな英語の歌を何回も聞いて歌詞を書きとったりしていた。友人から借りたレコードの歌詞も写した。今のように手軽に洋書が買



える時代ではなかったと痛感する、いや私が買えなかったかもしれない。

その中に中本先生に習った英詩 *Bed in Summer* がある。アラスカに行った時、この詩の内容を実感している。(東京で公文式学習塾をやっている。)

(二室 干場(徳永) 太恵子)

定年後の十年、そしてこの一年

一、定年後の十年

退職後は、コンピュータからできるだけ離れ、畑違いのことをしようと、有機野菜の栽培に勤しむ健康維持や節約(何しろ年金生活)の狙いもあり。

二、この一年

昨年度が亡くなり、実家の整理中。添付の写真(高三年時の仮装行列)がフィルム一本分出てきた。

そのうちの二枚を添付。写真に映っている級友に投稿の了解を得るため連絡。これもまた楽し。

※仮装の私はどこに誰だか分からない、ヘルメットにサングラス姿。学生運動を何も理解していないのに。やはり大学生に憧れていたのかな、今にして思えば。

(十二室 吉富正弘)



高三夏の思い出

昭和四十四年八月、鹿児島県の海上自衛隊鹿屋航空隊に一週間ほど体験入隊した。わが校からは四名が入隊した。YS-11搭乗の霧島周回飛行、錦江湾での高速艇乗船疾走、対潜哨戒機の機内見学、そして毎日の千二百メートル滑走路の往復など、水泳訓練など。体験であつた。受験準備に終始せず、刺激的な高三夏休みの思い出となった。

同行の部活も共にした募黙な高嶋潔君はその後ブルーインパルスの隊員になった。しかし、昭和五七年秋に浜松基地航空祭での曲芸飛行で殉職した。

同年には夏の黒部峡谷で大学の岳友が遭難しており、二人の仲間を喪った。そんな悲しい出来事も思い出させる写真である。

(十一室 戸塚誠司)

